

インターネット接続でEAP、PEAPを利用する場合

IEEE 802.1Xとは、ネットワークに接続するコンピュータなどの端末を認証する方法を定めた標準規格の一つです。正当な登録利用者のみがLAN(構内ネットワーク)や無線LAN(Wi-Fi)に接続することができるようになります。

3つの要素から成り立ち、それぞれ、サブリカント、オーセンティケーター、認証サーバーです。サブリカントがPCや携帯などネットワークにつなげたい端末、オーセンティケーターはAPなどネットワークにつなげる機械や、認証SWなど認証サーバーとネットワークの中継をする機械などで、ここでアクセスの制御が行われます。認証サーバーは、ネットワーク管理者が管理しているものでここに後述するIDやパスワードの情報が入れられています。端末から入力されたID情報がサーバー内にあるか確認して、その結果に応じてオーセンティケーターにアクセス制御の指示を出します。

そのため、学校や企業など、特定の人しか接続を許してはいけないようなネットワーク環境を構築している場所が使われています。

接続方法

接続するには、ネットワークの追加と証明書登録の2つが必要です。

～ネットワークの追加まで～

- 1.EZCast Proアプリを開き、EZCast Proと接続します。
- 2.設定画面を開き、管理者としてログインします。
- 3.ネットワーク管理を開き、続いて5Gルーターに接続を開きます。上にある「ネットワークの追加」を選択します。
- 4.セキュリティを802.1x EAPを選び、利用しているネットワーク方式を選びます。

PEAP、PEAP2の場合

SSID、identify、パスワードを入力。SSIDは接続するネットワークのSSID、identifyとパスワードは認証サーバーに登録されているもの(アカウントのようなものです)を入力してください。

TLSの場合

PEAP、PEAP2と同様の3つの情報に加えて、key_psk(事前共有鍵)を入力してください。こちらはネットワーク管理者にお聞きください。

～証明書登録～

- 1.同様に設定画面から管理者設定を開き、WiFi Enterpriseを開きます。
- 2.3つのアップロード項目がありますが、ネットワークの追加で「PEAP2(MSCHAPv2)」を選択した方は、CA.pemのみ、「TLS」を選んだ方は3つすべてアップロードしてください。

それぞれのファイルの内容は以下の通りです。

CA...信頼された認証局(CA)によって証明された認証局証明書

certificate...クライアント自身のデジタル証明書

privatekey...プライベートキー

それぞれのファイルの詳しい確認、取得方法はネットワーク管理者にお聞きください。